

- 1 日時 令和7年12月〇日(〇) 第〇校時
2 学年 第1学年〇組
3 単元名 「きせつとなかよし あき」 内容(5)(6)
4 単元について

単元の目標

秋の自然を観察したり自然物を遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付け、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びに使う物を工夫してつくったりする。また、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さ、季節の遊びや生活を楽しくつくり出すことができるようにする。

目指す子供の姿

- 学校や公園の秋の自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さに気付いている。
- 秋の特徴や他の季節との違いを見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。
- 秋を生活に取り入れ、みんなと遊びをつくり出そうとしたりしている。

現在の子供の姿

「季節の変化を知っていますか」というアンケートをとると、今まで「きせつとなかよし 春・夏」の学習をしてきたこともあり、全体の7割以上が「はい」と答えた。しかし、「秋の落ち葉や、木の実と触れ合ったことがあるか」という質問には、「あまりない」と答えた児童が4割もいた。アンケート結果から、季節の変化は感じているが、秋ならではの具体物と触れ合う体験をしてきた児童が少ないことが分かった。この学習を通して、秋ならではの落ち葉や、木の実と触れ合いながら、自然の豊かさを体感してほしいと考えている。

「きせつとなかよし はる・なつ」の学習では、公園や校内の自然を観察したり、それらを生かして遊んだりしてきた。春には、公園でたんぽぽや、シロツメクサで草花遊びをしたり、ダンゴムシやバッタなどを観察したりして自然と触れ合ったりした。夏には、アサガオでこすり染めをしたり、砂遊びをしたりして季節を楽しむ活動も行った。同じ場所で自然観察をしてきたことで、春にはいなかった生き物や植物の変化に気付き、季節の違いを楽しむ児童が多くなってきている。また、自分の感じた思いを絵や文字で書くことを楽しむようになってきた。

9月に、こども園の園児たちと「水遊び祭り」を行い、初めての交流会を行った。自分たちで考えた水遊びのお店を、どうやったら園児が楽しめるのか工夫して考え、一緒にお祭りを楽しむことができた。交流後も園児から「楽しかった」と言われ、自分も園児もみんなが楽しめるように相手を意識して関わろうとする姿もみられるようになってきている。

単元の価値

秋は、木の実や落ち葉など、児童にとって魅力的な自然物が多く見られる季節である。これまで学校や近くの公園などの同じ場所で「春見つけ」や「夏見つけ」の活動を行ってきた経験を踏まえることで、児童は季節による変化を比較しながら、これまでになかった新たな秋の発見に気付くことができる。学校や地域の公園へ秋見つけに出かけることで、児童が自分の住んでいる地域にも秋が広がっていることを実感できるようにする。また、森林公園を訪れることで、身の回りでは見られない多様な秋の変化や自然物に気付かせたい。自然の中で五感を働かせて活動することで、自然物に親しみ、それらを使って遊ぶ楽しさを味わうことができるようにする。

さらに、自分の活動を発展させ、園児との交流の場を設定することで、相手が楽しく過ごせるような言葉遣いやふるまいを考え、実践する力を育てたい。また、話し合い活動を取り入れ、自分の考えを友達に

認めてもらったり、友達の考えを良さとして受け止めたりすることで、よりよい学級集団づくりにつながる学習となるように位置付けていきたい。

指導・支援の手立て

児童が地域の公園だけでなく、森林公園に出掛けて職員の方に木の実や、木の名前などを教えてもらいながら、自然いっぱいの森林公園の中を散策し、木の実や落ち葉、小枝を拾い集める活動をすることで、豊かな秋をわくわくしながら実感し、見つけた秋で「こんなことがしてみたい」と意欲を高める。また、拾ってきた秋のものを使っておもちゃ作りや、遊び方を試したり、発展させたりしていく活動を任せることで、自主性や協働的な学びを育みたい。児童達自身が話し合いやグループ活動を行う中で、互いの良さに気付かせ、振り返りで友達の良かったところも書くなど、認め合える場面を設定することで、互いを認め合う心地よさや大切さを感じさせていきたい。

つながる学び

校内研究「STEAM 教育 (Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics)」との関連

○ Arts (芸術)

秋の木の実や落ち葉を使って、おもちゃを作る際、デザインを工夫して視覚的にわかりやすく魅力が伝わる表現を行う。

○ Mathematics (数学)

おもちゃを作る時に必要な材料の数を数えたり、加法を用いて計算をしたりする。重さや大きさを比較して、おもちゃに適切な秋の材料を取捨選択する。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びのおもしろさや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。	○秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見つけ、遊びや遊びに使う物を工夫してつくっている。	○秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。
① 夏から秋へ自然の様子が変化していることに気づき、公園や校庭の植物や生き物の様子が変わっていることから、季節が変わったことや自然の不思議さや面白さに気付いている。	① 身の回りで感じられる季節の様子を見つけて、変化について考えている。	① 身の回りに感じられる季節の様子や変化に関心を持ち、それらを見つけようとしている。
② 秋の実や落ち葉の特徴や、それを利用した遊びがあることに気付いている。	② 諸感覚を使って自然を観察したり、関わったりすることを通して、季節の変化を感じて表現している。	② 秋の植物や生き物に関心を持ち、変化を探そうとしている。
③ みんなが楽しく遊べるように、遊び方やルールを工夫することや、分かりやすく伝えるために	③ 秋の実や落ち葉の特徴を捉えて、それを利用した遊びを考えている。	③ 秋の実や落ち葉の特徴を捉えて、それを利用した遊びを友達と創り出そうとしている。

<p>工夫が必要であることに気付いている。</p> <p>④ 秋の実を使ったおもちゃのおもしろさに気付いている。</p>	<p>④ 比べたり、試したり、見立てたり、ルールを決めたりしながら、秋の実や落ち葉を使って遊ぶ物を工夫して作っている。</p> <p>⑤ 相手に合わせておもちゃの遊び方の伝え方を工夫して考えている。</p>	<p>④ 自分の考えを伝えたり、友達の考えのよさを取り入れたりして遊びを楽しくしようとしている。</p> <p>⑤ 作ったおもちゃで遊びあって、秋を楽しんでいる。</p>
--	---	---

6 指導と評価の計画（全20時間）




次	小単元名	主な活動内容	知	思	態	評価方法
1	1 あきになったのかな (1h)	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りで感じられる季節の様子に関心をもち紹介し合う。 ・友達と見つけた秋の様子を伝え合い、夏から秋へ変わったことに気付く。 ・季節の変化は、五感や生活用品、食材、日照時間、気温、服装など多様な物から感じ取れることを理解する。 ・学校の周りの秋も見つけたいという今後の見通しをもつ。 	①	①	①	発言 ワークシート
	2 あきを見つけにいこう (7h)	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭や地域の公園や校庭、秋を見つけに行く。 ・探検を振り返り、見つけた秋で気付いたことを伝え合う。もっと森の中の森林公園の秋はどうなっているのかに興味関心をもって、探検計画を立てる。 ・森林公園に秋見つけに行き、季節の変化を感じ取り、秋の自然に触れる。 ・探検して見つけた秋を友達と共有し、振り返る。次の活動への思いや願いをもつ。 	① ②	① ②	① ②	行動観察 発言 ワークシート
2	3 見つけたあきでつくってあそぼう (5h)	<ul style="list-style-type: none"> ・素材を生かしてどんな遊びができそうか考え、つくりたいおもちゃを決める。 ・素材に身の回りの道具を足して、おもちゃをつくりながら試し遊びをする。 ・クラスで遊んで、おもちゃを試し、面白いところや改善点を伝え合う。 ・友達の助言をもとに、おもちゃや遊び方、ルールを改善する。 	② ④	③ ④	③ ④	行動観察 発言 ワークシート
	4 みんなであきをたのしもう (6h)	<ul style="list-style-type: none"> ・つくったおもちゃで誰と遊びたいか話し合い、園児に紹介したいおもちゃを考える。 ・園児を招待する計画を立てる。 ・園児がどうやったら楽しめるか、話し合いながら、おもちゃを工夫してつくる。 ・園児を招待して一緒に遊び、楽しさを伝える。 	③ ④	④ ⑤	④ ⑤	行動観察 発言 ワークシート
	5 なにをかんじたかな (1h)	<ul style="list-style-type: none"> ・単元活動を振り返り、学習前後における秋に対する自分の思いや関わり方を振り返る。 	④	⑤	⑤	発言 ワークシート

7 本時の目標（1年1組）

秋の実や落ち葉を使って、園児と一緒に楽しめるような遊びの工夫を試したり、工夫したりしながら考えることができる。【思考・判断・表現④】

8 本時の学習展開（1年1組）

働きかけ（目指す子供の姿のために）

<p>1 問題の把握・設定</p> <p>・めあてを見て、頑張り目標を決める。</p> <p>◎今日は、おもちゃを作っていきます。</p> <p>どんなふうに作っていきたいですか。</p>	
<p>ねんちょうさんが たのしめるおもちゃを はなしあいながらつくろう。</p>	
<p>◎おもちゃを作っていきます。年長さんが楽しむためには、みんなはどんな工夫ができそうですか。自分の頑張り目標を書きましょう。</p>  <p>もっと高くとぶには、どうしたらいいか友達と話し合いたい。</p> <p>友達と話し合いながら作ってみたい。</p> <p>もっとくふうして、楽しめるものを作りたい。</p>	<p>○ おもちゃ作りの視点として、「くらべる」「ためす」「見つける」「はなしあう」など、カードを板書に貼り意識づける。</p>
<p>2 活動</p> <p>◎グループに分かれて、力を合わせながら「年長さんが楽しめる」道具を作り始めましょう。</p> <p>◎「くらべる」「ためす」をしてみて、気付いたことを発表する。</p>  <p>丸いどんぐりの方が、よく転がるかも。</p> <p>コップの大きい方が入りやすかったね。</p> <p>投げる位置を変えてもいいね。</p>	<p>○ 試したり、作ったりしながら考えることができるように、秋のものや道具を準備しておく。</p> <p>【準備する道具】</p> <p>・紙・テープ・秋見つけで見つけたもの・段ボール・段ボールカッター・きり・グルーガン</p> <p>○きりやグルーガンなどは、危険な道具なため、使い方を示した表を置く。</p> <p>○ やって見た工夫が、「年長さんが楽しめる」ものになっているか、立ち返ることができるように問い返したり、また、見付けたことや、友達の良かったところを発表したりするように声掛けする。</p>
<p>3 振り返りをする。</p>  <p>友達と話し合っ、色々なアイデアが聞けて面白かった。</p> <p>何回も試していたら、もっと回るようになってよかった。</p> <p>〇〇さんが、こまを大きくしたらと言ったのが良かった！</p>	<p>○ 自分の頑張り目標に対しての振り返りをする。「くらべる」「ためす」にも着目させて書いても良いことを伝える。</p>

グループの人と話し合いながら、年長さんが楽しむおもちゃを作ることができてうれしかった。

4 次時の学習を考える。

○ 次時への見通しがもてるように児童の思いや願いから活動を考えるようにする。

9 板書計画 (1年1組)

ねんちょうさんが たのしめるおもちゃを はなしあいながらつくろう。

おみせ

くらべる

ためす

見つける

くらべる

ためす

・くらべてみたら、大きいどんぐりより、小さいほうがよく回った。
・みじかいゴムのほうが、とおくまでとんでたのしいのができた。






10 本時の評価規準と目指す子供の姿

本時の評価規準	目指す子供の姿
【思考・判断・表現③】 園児と一緒に楽しめるような遊びの工夫を試しながら考え、伝え合っている。(発言・行動・ワークシート)	○ 園児と一緒に楽しめるような遊びの工夫を考え、伝えている。 ・「どんぐりごま」は、どうやったら、長く回るかな。小さいのより、大きい方が回しやすいからわくわくしそうだね。 ・「どんぐりレース」は、転がる様子を見てると楽しいね。もっと、コースを長くしてみよう。 ・「どんぐりパチンコ」は、ゴムのかけ方でとび方が違うかも。穴の数を増やしたり減らしたりすると自分たちも園児さんも楽しめそう。

11 本時の目標（1年2組）

秋の自然物を使ったおもちゃの遊び方を試したり比べたりしながら、みんなが楽しく遊べるようにルールを工夫して考えることができる。【思考・判断・表現④】

12 本時の学習展開（1年2組）

学習活動	働きかけ（目指す子供の姿のために）
<p>1 問題の把握・設定</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて ねんちょうさんが わくわくする ゲームのルールを かんがえよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> わくわくするルールとは、どんなルールなのかを考える。 めあてを見て、頑張り目標を決める。 <p>◎実際に試しながらルールを工夫してみてね。今日の自分の頑張り目標を決めましょう。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>試しながら年長さんが喜ぶようなルールを作りたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなで話し合っ、だれでも楽しめるようなルールを考えたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>優しい言い方にしようよ。</p> </div> <p>2 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ルールを考えながら、自分たちの班のおもちゃで遊んでみる。 試しながら、園児が楽しめるようなルールを考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>2人で勝負する方が楽しいんじゃないかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>時間をはかってあげたら楽しいんじゃないかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>その意見面白い！そうしようよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>やさしい言い方にしようよ。</p> </div> <p>3 振り返りをする。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなで話し合っ楽しいルールを考えることができた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇〇さんの時間を測るという意見が、すごくおもしろそうだった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>早く年長さんに来て欲しいと思った。</p> </div> <p>4 次時の学習内容を考える</p>	<p>○自分で目標を決めることのできない児童のために、友達の意見を参考にしてもいいことを伝える。</p> <p>○自分なりの目標を立てることで、自分事として前向きに取り組むことができるようにする。</p> <p>○自分で目標を決めることのできない児童のために、ほかの児童の意見を参考に書いていいことを伝える。</p> <p>○試したり、作ったりしながらルールを考えることができるように、秋のものや道具を準備しておく。</p> <p>【準備する道具】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙・テープ・秋見つけで見つけたもの・段ボール・段ボールカッター・きり・グルーガン <p>○きりやグルーガンなどは、危険な道具なため、使い方を示した表を置く。</p> <p>○時間があれば、わくわくはしごで視覚的に自己評価をする。</p> <p>○振り返りで文を考えることが難しい児童のために、話型を示した掲示をする。</p> <p>○次の活動の見通しをもつ。</p>

13 板書計画（1年2組）

めあて ねんちょうさんが わくわくする ゲームのルールを かんがえよう。

えんじがたのしめるルールをつくる。
 ・ともだちと、たのしいルールをかんがえる。

おみせ

わくわくするルールって？

・ねんちょうさんが、えがおになる。
 ・ともだちとたのしめるようなルール。
 ・みんなでする。 ・わかりやすい。
 ・あぶなくないもの ・みじかい

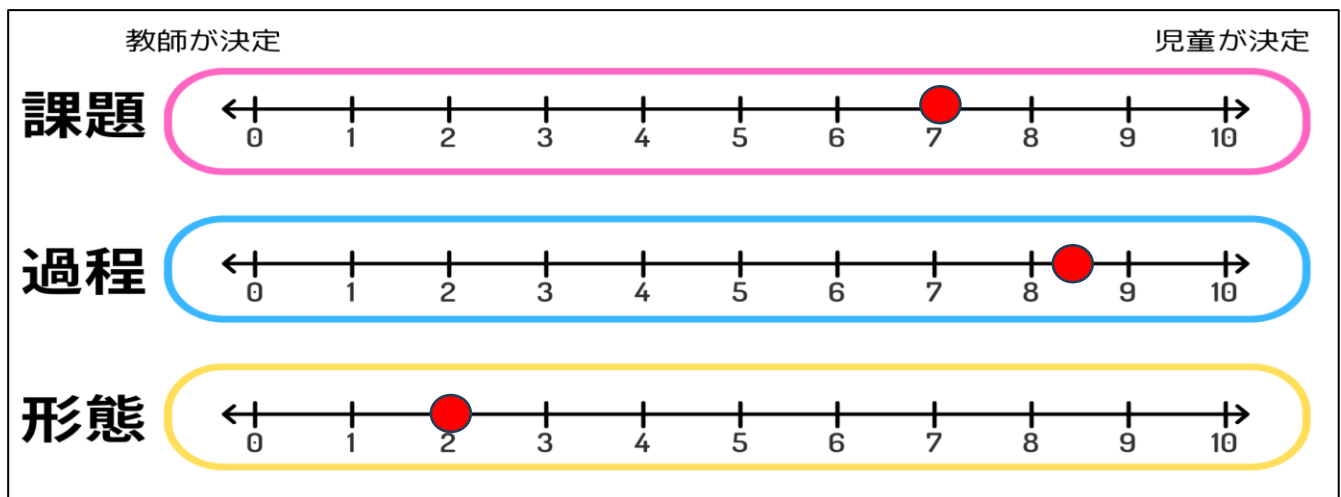
ふ

・ともだちとはなしあって、わくわくするルールになった。
 ・ねんちょうさんがたのしめるように、とくてんをつけることにした。
 ・きょうそうをしたら、たのしいルールになるとおもう。

14 本時の評価規準と目指す子供の姿

本時の評価規準	目指す子供の姿
【思考・判断・表現④】 秋の自然物を使ったおもちゃの遊び方を「試す・比べる」活動を通して、みんなが楽しく遊べるようにルールを工夫して考えている。（発言・行動・ワークシート）	○作った秋のおもちゃで実際に遊びながら、動きや楽しさを確かめ、年長さんが喜ぶ理由をもとに、みんなが楽しめるルールを工夫して考えている。 <ul style="list-style-type: none"> ・点数を付けたら年長さんも、嬉しい気持ちになるんじゃないかな。 ・一人ずつ順番にやるのもいいけど、みんなでやったら楽しいんじゃないかな。 ・タイマーで時間を測ると面白そう。それなら、おもちゃがもつといるね。次の時間はおもちゃを作ろう。

15 教師の介入レベル



※学習課題、学習過程、学習形態について教師が子どもにどのくらい委ねるかを数値化しています。

計画と実際を比べてどうだったか。また、どのくらい介入するべきか。など、参観する際の指標にするために記載しています。

16 本時の見どころ

- ・園児を楽しませるという観点で、みんなで話し合ったり、試したりしながらお店の道具づくりを楽しんでいる。